

感染防止のための競技上の注意事項 (新人大会及びドリームカップ共通)

- ① 今大会は、セット間でのコート変更はおこなわず、1試合通して同じコートを使用する。試合で使用するコートは、トーナメント表の番号が若いチームが、記録席から向かって左側のコートに入る。(記録用紙上のA)
- ② コイントス時や、キャプテンと審判間の挨拶や試合前の握手に関しては一礼にかえる。また、試合前のチームの挨拶はエンドライン上で行う。
- ③ 競技中のハイタッチは腕のタッチにとどめること。また、試合前などの円陣や、ベンチでの集合時においてもできるだけ密集・接触を避けること。
- ④ ベンチスタッフ及び控え選手はベンチではマスク着用とする。
- ⑤ アップゾーンは次に試合に出る選手のみ使用し、控え選手はベンチに待機すること。また、ベンチでは間隔を空けて座ること。
- ⑥ 試合終了後、両チームは自チームでベンチの消毒をしてから、すみやかにベンチを空けること。
- ⑦ ラインフラッグはチームが持参すること。準備ができないチームは貸し出しますので各会場の大会本部席に申し出てください。
- ⑧ ベンチには、飲料水と医薬品等の試合に関係するもの以外は、持ち込まないようにすること。ボトルやタオル等は共用せず各自準備すること。
- ⑨ 応援は指定の応援場所で行い、セット間の移動はしない。また、応援は原則拍手のみとし、鳴り物を使用しての応援及び声を出しての応援はしないこととする。
- ⑩ チームの控え場所は、各会場の指定された場所とします。指定された場所以外にはむやみに出歩かないようにすること。
- ⑪ 会場への入場は、選手・スタッフ・父兄がまとまって入場すること。
- ⑫ 今大会(新人大会及びドリームカップ)のチームの応援選手(大会登録外選手)及び父兄の入場制限は、大会登録選手1名に対して2名の合計を上限とし、この人数を超えないようにお願いします。
例：登録選手12名、スタッフ3名、随行審判員2名、応援選手及び父兄は登録選手の人数×2名=24名とし1チーム最大41名とする。
- ⑬ 補助員の筆記用具は持参する。
監督が記録用紙にサインする際もペンを持参する。